

通信教育部開設40周年記念インタビュー「創価教育と私」

The Division of Correspondence Education

40th Anniversary Interview – Soka Education and I



創価大学ニュース

2016
Summer

SUN

Soka Univ. News

特集

Challengers

学びへのチャレンジ



夏こそチャレンジ! 皆さんの学びへの意欲を 応援する大特集です!

夏休みも創大キャンパスはにぎわう時期です。それは、スキルアップを目指す創大生はもちろん、オープンキャンパスに訪れた受験生、また通教のスクーリングや夏季大学講座の受講生など、“学び”への

意欲を持った老若男女が日本、いや世界から集まってくるからです。今号では、様々な挑戦を自分に課して、さらなる高みを目指しているチャレンジャーたちを紹介します。

5人の挑戦者たち Introducing the Challengers

Three People with Great Passion

まず登場するのは創大のサポートを最大限に活用する3人のチャレンジャーたち。本物の英語力、海外での就労体験、経済的困難を乗り越えて日本で学ぶことにこだわる等、熱い挑戦心を語ります。



英語に
全力

木村 宏一さん
Koichi Kimura
国際教養学部3年

.....3
page.



海外で
Internship

岩佐 弘美さん
Hiromi Iwasa
経済学部3年

.....4
page.



日本で
勉めろ

シン ウェン ハンさん
Sin Wen Han
文学部1年

.....5
page.

Creating your own destiny

濃い化粧と短い丈のスカートで高校生活を謳歌していた「元ギャル」の加藤さん。模試判定F評価から猛勉強して見事に創大合格を勝ち取った、そのチャレンジの道筋とは。



創大
受験

加藤 美紀さん
Miki Kato
経営学部4年

.....8
page.

Taking up the Challenge at 66

79歳の今も、現役で日本語教師を続けている通信教育部卒業生。彼女が通教に入学したのは66歳でした。中国でも日本語を教えるなど、衰えることを知らない意欲を支えるものは。



通教
卒業

赤堀 由子さん
Yoshiko Akahori

2006年度 通信教育部卒業

.....12
page.

Challenger's File No.1

特集

木村 宏一さん
Koichi Kimura
国際教養学部3年

本物の英語力を 身に付けたい。 英語漬けの日々が 世界につながる

「国際教養学部にて在籍して世界を視野に入れて勉強してきた私は、8月からシンガポールの南洋理工大学へ留学します。学ぶのは、アジアの歴史、経済。アジア圏は、2050年までに世界GDPの50%を占めるといわれるパワーを秘めたエリアですが、民族の多様性による課題が多く、急成長ゆえの経済格差も激しいのが現状です。私の夢は、アジア圏で時代に適合した多様な開発に携わり、豊かで持続可能な社会の実現を目指すこと。それが卒業後の私の挑戦です。

それには、アジアの国々の経済発展の歴史、なぜ格差ができるのか、経済成長のためには何が必要なのか等、様々な視点から物事を分析できる力を身に付けなければなりません。この留学でできる限りのものを吸収しようと思っています。

もちろん、こうしたグローバルな諸問題の解決には、英語で情報を収集・分析・発信する能力が必須です。国際教養学部の授業は英語だけで行われますから、夢も寝言も英語漬け。母国語のように英語を使いこなせるようになりたい。それが、国際教養学部への進学を決めた大きな理由です。

私が初めて英語に触れたのは英語教室に通い始めた6歳のとき。その後、家族でアメリカへ旅行して、初めてネイティブと交わした英語が「通じた!」という感動は、今でも忘れられません。その感動が、世界を舞台に挑戦する国際人への道に続いています。国際教養学部の仲間と、目標を実現するため励まし合っています」

Advice for Challengers

“世界にチャレンジできる英語力”なら国際教養学部！

- 1年次に全員が1年間の海外留学を経験。異文化や価値観、相手を理解し、自身を表現するコミュニケーション力が身に付きます。
- 学部授業は全て英語で実施。高度な英語運用能力を習得し国

際性・学際性・実践力が自分のものに!

- 国際性豊かな教員と多彩なカリキュラム。17名中11名が外国人教員で、優れたプログラム等、豊かな学習環境が整っています。

Challenger's File No.2

岩佐 弘美さん
Hiromi Iwasa
経済学部3年

海外インターンシップで 得たチャレンジ精神。 活躍の場は日本の外にも!

「海外インターンシップという、難しい、ハードルが高いというイメージがあるかもしれませんが、でも私は、海外で就労体験にチャレンジできるというワクワク感でいっぱいでした。インターンシップ先は、メルボルン(オーストラリア)の中規模ホテル。担当した仕事は、清掃やベッドメイキングから、カフェでの接客、会計や書類整理などの事務仕事です。私は英語で経済学を学ぶIP(インターナショナル・プログラム)を履修し、いつか自分の英語力を実社会で試したいと考えていたので、毎日がチャレンジでした。具体的には、ホテルでの実習で仕事を教えてくださった社員の方に、家庭や趣味に関して積極的に質問したり、英語でコミュニケーションを取ったりすることを意識しました。海外では、職場の先輩や仲間、お客さんなどがいつもやさしく接してくれます。ただ、自分の言葉は通じているのか、相手の話を正しく理解できているのかという不安は常にありました。この不安を払拭するため、大切にしていたのがポジティブ志向とチャレンジ精神です。自分から話したいという意欲を見せれば、周りから話しかけてくれますし、仕事への意欲を感じてくれれば、経験が無くても挑戦させてくれます。

海外での就労体験で、自分が活躍できる場所は日本だけではないことを知りました。ホームステイ先やホテル、そしてサポート会社の人たちとは今でもメールやLINEでつながっていて、私の大きな財産になっています」

Advice for Challengers

創大の海外インターンシップは単位認定、奨学金も!

○海外インターンシップは創大留学制度の一部です。AIP(オーストラリア/メルボルン)、VIP(カナダ/バンクーバー)、PIM(タイ)、FPT(ベトナム/ハノイ)、FPT(ベトナム/ダナン)

○研修先は観光分野、教育機関、環境団体など。夏季・春季休暇中に行われ、修了後は単位が認定され、参加者に奨学金が支給されます。

Challenger's File No.3

シン ウェン ハンさん

Sin Wen Han

文学部1年(マレーシア出身)

日本で挑戦し続ける！ マレーシアから見守って くれている両親のためにも

「マレーシアから日本に来たのは昨年
の春。日本の大学へ進学したいという
目標があり、日本語学校に入学しまし
た。実は、私の父は病気で働くことが
できず、母は父の看病をしています。
それでも両親は「自分の道を探すこと
が一番大事。やりたいことをやりなさい
」と私を日本へ送り出してくれました。
その気持ちに応えるのは、毎日全力で
勉強に打ち込むこと。日本語学校では、
自分で明確なゴールを設定しました。最
初の3ヶ月間で基本的な会話や読み書
きを修得することを目標とし、朝学校
へ行く前に2時間の予習、帰宅後は復
習も欠かしませんでした。次の3ヶ月
間は、日本語で日本の地理や歴史、文
化を学んで日本語力のレベルアップを
図り、11月の創大入試へと挑みました。

当初、音楽大学を目指していた私が
創大を目指したのは、学力を付けるだ
けでなく、人格を磨くこともできるの
が創大だと気づいたからです。また、
経済的に厳しい環境にある私にとって
、創大の充実した奨学金制度は、安心
して勉強に打ち込むことができると思
いました。その努力が報われて、この4
月から創大生になりました。

大学では毎日がチャレンジです。日
本語の上達はもちろん、中学・高校の
英語教師の資格がとれる教職課程も
とっています。放課後は夜まで図書館
にいたことが多いですね。将来の目
標は、社会に貢献し役立つ人材にな
ること。それは両親が私に教えてく
れた哲学です。在学中に、これだ!
という道を見つけるまで、私の挑戦は
続きます」



Advice for Challengers

シン ウェン ハンさんが受給している、留学生向け奨学金はこれ！

○外国人学生学費減免奨学金／入学前に審査を行い、初年度から減免。前年の家計支持者の年収により全額免除、半額免除がある。支給対象は、本学の私費外国人留学生で、成績、人物

ともに優秀な者、経済的理由による学業の継続が困難な者。

○牧口記念教育基金会留学生奨学金／学部生：毎年度末時点の通算 GPA *3.3以上→月額6万円、2.0以上3.3未満→月額3万円

We Support the Challengers!

この夏、いえ1年中!
頑張るあなたを全力応援する「Help Desk」!

一度利用すれば良さがわかる

SPACEの学習支援サービスの1つである「Help Desk」。

あなたは、ご存じですか? 学習相談をはじめ、レポートチュータリングやレポート診断など、あなたの“気になる”あれやこれやが解決できるんです。

どんな相談ができるか、Help Desk スタッフに具体的に聞いてみました。

履修登録から生活管理、学習方法まで解決!

学習相談



学習相談にのるのは「Help Desk スタッフ」と呼ばれる学生たち。スタッフの一人松田さんは、高校生のとき塾講師をしていたことや創大での寮生活など、自分の経験を交えながら一緒に悩み、考え、解決への提案をしています。

目の前の悩みに対応するだけでなく、様々な問題を解決していくスキルも提案してくれるので、次第に自分一人で解決していけるようになります。

頼りになるHelp Deskスタッフ

松田 優さん Yu Matsuda
経営学部経営学科3年

2年生の9月(後期)から学習相談のスタッフ。履修登録のお手伝いやタイムマネジメントの提案、学習相談では得意の数学や英語を中心に支援中。

【 Help Desk 相談あるある 】

◎**そもそもHelp Deskって何をしてくれるの?**
ワードの使い方がわからない、気分が晴れず勉強が手につかない、漠然とした不安がある等、何でも話してください。大学生活にかかわることであれば、どんなことでもかまいません!

◎**どんな人が相談にのってくれるの?**
スタッフを希望する学部生は面接を受け、研修を経ています。留学経験者や寮生活経験者もたくさんいるので、知り合いの先輩に相談するような気持ちで気軽にどうぞ!皆さんのキャンパスライフを心から応援します。

◎**相談内容が他の人に伝わることはないの?**
スタッフには守秘義務があるので、安心して相談してください。解決の近道は、まず自分

先輩のサポートでレポートがランクアップ!

レポート診断&チュータリング



レポートの基本的な作成方法から、テーマの選び方、レベルアップさせるコツなどをサポートするのが「レポート診断」と「レポートチュータリング」です。院生の経験豊富な先輩が指導します。レポートチュータリングを担当する江川さんは、頼れるアニキ的存在。気軽に相談できます。また、数学が苦手な人には「数学チュータリング」がオススメです!

頼りになるHelp Deskスタッフ

江川 秀明さん Hideaki Egawa
工学研究科情報システム工学専攻2年

レポート診断、レポートチュータリング、さらに数学チュータリングも担当するスタッフ歴2年の頼れるアニキ的存在。後輩の考える力、自分で解決する力を引き出すことを大切にしています。

【 チュータリングあるある 】

◎**診断とチュータリングはどう違う?**
Help Deskで、話しながらサポートするのがチュータリングで、診断はレポートに直接アドバイスを書き込みます。ただ、サポート方法は人それぞれ。最初は診断で、その結果を対面のチュータリングで聞くこともできます。

◎**数学チュータリングって何?**
数学チュータリングは、高校時代に数学が苦手で、「今さら基礎を聞けない」、「何から勉強すればいいのかかわからない」などと悩んでいる人を個人的に指導します。

◎**授業で提出するレポートでもいいの?**
大丈夫です。ただ、学生に代わって書き直すわけではありません。相談者が望むサポートを把握し、アドバイスをします。どんなテーマ

●オープン時間

通常授業実施日(月～金)

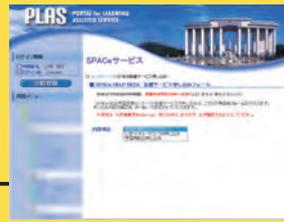
13:00～18:30

予約方法はポータルサイトからアクセス、または直接窓口へ。

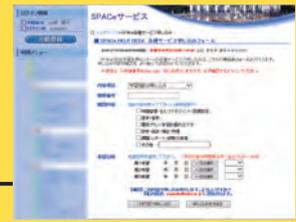
●予約方法 ポータルサイトにログイン。「ツール・リンク集」→「SPACe学習支援サービス」→“各種支援サービス申込み”



①申込みをする項目を選択



②希望するサービス「レポートチュータリングの申し込み」もしくは「学習相談の申し込み」を選択



③必要事項を入力してください

をオープンにすることです。気持ちが楽になったり、解決の糸口が見つかったりします。

●何回、相談できるの？

何度でも来てください。予約制ですが、飛び込みでも大丈夫です。一人あたり30～60分と柔軟に対応しています。また、「継続的サポート」も行っています。希望される方は、期間を決めて次回の予約を入れ、そして次の相談日に、問題は解決したか等、フィードバックしていただきます。継続的サポートを受けている方は、スキルアップにもつながるため、GPAも向上するなど結果が出ています。

●Help Deskが混雑する時期は？

4月と9月の履修登録期間は利用する人が多いです。この期間は混雑しますので、ポータルサイトから予約されることをお勧めします。

【生活管理のアドバイス例】

●夏休みや冬休みのタイムマネジメントのコツは？

実家に帰ったときはたっぷり遊ぶ、大学に戻ったら集中して勉強する等、メリハリのある生活をお薦めしています。また、スケジュールが実践できなくても落ち込まずに、そこから立て直す柔軟性を持てればタイムマネジメントは成功すると思います。

●夜眠れず体調が悪い、授業中も眠たいときは？

まず普通の起床・就寝時間、バイトの有無などを伺い、生活の様子を把握します。また、心理的な要素がかかわっていることもあるので、家族構成や今までの生活環境など多方面から改善ポイントを探していきます。

【勉強のアドバイス例】

●シラバスの見方や履修の組み方、授業の選択の仕方がわかりません

各学部の履修要項とご自身が希望する進路によって組み方が全く異なります。将来どんな進路を希望しているのか、何を優先的に学びたいか、具体的に何ってご提案します。一緒に考えていきましょう。

●部活動やアルバイトと勉学の両立はどうすればできる？

まずは自分の現状を把握し、優先順位を決めてから無理のない計画を立てましょう。また、移動時間や食事が出てくるまでの時間等の隙間時間も有効です。塵も積もれば山となる。この“チリツモ”を活用すれば30～60分の勉強時間が生まれます。

が、いいのかを話をしながら探ったり、ある程度できているレポートなら、さらに良くするにはどうすればいいかを話したりします。

●これまでどんな相談がありましたか？

「テーマ設定がうまくできない」、「構成の仕方がわからない」、「資料の探し方がわからない」、「自分の意見がきちんと伝わっているか」などが多いですね。

●チュータリングの難しいところは何ですか？

レポートの書き方には個人差があり、どういうアドバイスをするかは一人ひとり異なります。私たちはヒントを提示すること、糸口を見つける手助けをすることを目標にしています。最終的には自分で解決する力を身に付けられるようにサポートします。

●相談前に準備しておくことはありますか？

何を一番知りたいのか、聞きたいのかを明確にしておいてください。そこがしっかりしていれば、私たちが答えやすく、時間を無駄にすることがなくなります。

この夏、読書にチャレンジする人にオススメ!



『考え方の教室』

齋藤 孝 著/岩波書店/2015年

「考え方」を「技」として身に付ける、が本書のテーマ。

考えるとは工夫すること、といったわかりやすい16回のレッスンで、あなたを“考える人”に。



『世界中の言語を楽しく学ぶ』

井上 孝夫 著/新潮社/2004年

出版社の校閲者である著者が学んだ言語は100以上。多くの言語を学んだ記録やエピソードから導き出された他言語学習の方法論が記されています。



Challengers File No.4

加藤 美紀さん
Miki Kato
経営学部4年

“あの日”、人生が一変! 創大入学を勝ち取るため、 全ての誘惑を絶った!

「あの日」とは、高校2年生の夏、創価大学オープンキャンパスの日です。そこで私が見たのは、自らの留学体験を、英語で流暢に話す先輩のキラキラした姿。しかも、大学に入るまでは英語が苦手だったと。衝撃的でした。私もあんな人になりたい!創大ならなれるかも!人生が一変した瞬間です。

実はそれまで、授業中はゲームや漫画、放課後はバイトに部活、友人との遊び。濃い化粧と短いスカートで毎日を謳歌する、勉強とは縁がない女子高生でした(笑)。まず、苦手の英語を克服するため塾に通い、他の科目も高校の先生に指導を受けました。それでも、最初の模試はF判定。現実を突き付けられました。でも、あきらめずにバイトは辞め、友人の誘いも断り、平日は最低5時間、休日は10時間以上という猛勉強。そしてB判定を獲得。「やったー!」という気持ちと共に安心感が出て……。これが気のゆるみにつながり、次の模試ではD判定に逆戻り。さすがに落ち込みました。でも、再度訪れたオープンキャンパスで先生や先輩から励まされ、チャレンジ精神が復活。辛いときは、キャンパスガイドの先輩の記事を読んで自分の大学生活を思い描き、それを励みに頑張りました。そして、無事合格を手にしたのです。

私のように、それまでの蓄積がない人は勉強の成果が出るまでには時間が必要です。でも自分の可能性を信じて、まず“チャレンジすること、そしてあきらめずに“チャレンジを続ける”ことが大切だと感じます」

Advice for Challengers

“元ギャル”だった加藤さんの創大でのチャレンジは!

右の写真は高校時代と創大入学後の加藤さん。入学後は世界の国際問題、紛争、環境、貧困などを学ぶ国際連合研究会に入部。国連本部への研修、インド留学、東南アジア6カ国へのひとり旅、ラオスのNGOで英語教育のボランティアに参加するなど、様々なチャレンジを続け、学部の成績優秀者にも選ばれました。将来は、日本の教育システムを世界に発信する仕事を目指しています。



高校時代



インド留学

インタビュー「創価教育と私」

通信教育部長 花見常幸 教授

「学は光」を具現化する通信教育部。 全ての人の学びへの強い意欲を支えたい

年齢、職業、居住地に関係なく、 誰もが学べる通信教育部

通信教育部(通教)は、今年度で開設40周年を迎えました。創立者からは喜びの言葉が寄せられ、卒業生からもたくさんのお祝いメールや手紙が大学に届いています。

通教の歴史を振り返ると、創価大学に通教を設置することは、大学設立構想の当初から考えられていました。通信教育なら年齢、職業、居住地等に関係なく、あらゆる人が勉学にそむむことができると、創立者が考えていらしたからです。また、通教の機関誌「学光」は、創価教育の父、牧口常三郎先生の信念である「学は光、無学は闇」にちなんで、創立者が名付けられたものです。学の光をもって、人生や社会を照らして欲しいという創立者の強い思いが込められたネーミングであり、通教の教育指針ともいえるものです。

こうした創立者の熱意は実を結び、今や10代から80代までの、職業や立場の違う様々な人々が日本全国、さらには海外から通教で学んでいます。累計卒業生数は1万8千人にもものぼり、多くの卒業生がビジネスや教育、福祉などの現場、あるいは地域で活躍中です。

創価大学1期生として 大学の教員になろうと決意

私は2010年に通信教育部長に就任しました。専門は憲法学で、通学部法学部教授として授業を担当しています。私が大学の教員になった理由は、創価大学の1期生として創立者との懇談会に参加したときに、創立者の言葉に感銘を受けたからです。

創立者はオックスフォード大学やケンブリッジ大学の話をしてくださったのですが、両大学にはニュートンやベーコンらの偉人が使っ



第1回滝山祭で学生たちから贈られた学帽を着用し、展示を見学する創立者。右から2番目が花見教授

ていた本や机などが当時のまま残されており、学問の厳格さや厳肅さを感じたこと、教授たちは学生と一緒に学問をするという謙虚さにあふれていたことなどを聞かせてくださいました。

そして、「君たち学生の方で、創価大学をオックスフォード大やケンブリッジ大のような世界一流の大学にしていってほしい。頼んだよ」という話をされたのです。大変壮大な目標を伺い、本当に驚きましたが、このことが、私にとって創大の教員を目指す大きな原点になりました。オックスフォード大、ケンブリッジ大とはどういう大学なのか。興味がわき、学友たちと詳しく調べて第1回滝山祭で発表も行いました。創立者も展示をご覧になり、喜んでくださったことは忘れられない思い出です。

創立者が私の講義を お聴きになる日が来るとは!

その後、創大の教員として学生の教育に携わる中で、忘れもしない2004年1月8日。大変光

栄なことがありました。「憲法総論」の講義の準備をしていた私は、突然、田代副理事長(当時)から「今日の花見先生の授業に創立者が行かれる可能性があります。そのときはよろしくお願ひします」と言われたのです。詳しいことは分からないが、創立者は短いスピーチをされて、学生を激励されるのではないかということでした。

そして授業が始まり、15分ほどしたところで創立者が深く一礼をされて教室に入ってきました。学生たちは一瞬何が起こったか分からない感じでしたが、すぐに驚きと喜びの大拍手が起こりました。私は、当然創立者は教壇に立たれるのだと思っていたのですが、教壇には向かわず、空いていた席に座られたのです。それから私に向かって、「どうぞ続けてください」と。その時まで講義を聴いていただくことは全く考えていませんでしたので、私は一瞬固まってしまいました。

意を決して、授業を再開すると、創立者は何度もうなずきながら、真剣に私の講義を聴

The Division of Correspondence Education – Where Learning is the Light. Helping anyone with a passion to learn.

いてくださいました。「頑張れ、頑張れ」と無言のメールを送っていただいているように感じ、感謝の思いでいっぱいになり、目頭が熱くなったことをよく覚えています。

15分ほど講義を聴かれてから、私と学生たちに「ありがとう」「寒いから体に気をつけて、勉強を頑張ってください」とおっしゃって退室されたのですが、ほどなくして、講義を続けていた私のもとに創立者が4首の歌(和歌)を詠んでいただいたというメモが届きました。

- 学びゆけ 勝利の人生 飾るため
学生博士の 求道忘れず
- 人間の 深き価値をば 知るために
学べに学べや 青春賢く
- 寒風に 凜々しき君らの 瞳かな
父母見つめむ 学友続かむ
- 憲法を 学ばむ知性の 君たちと
机を並べて 尊き授業よ

最後の1首は先ほどの出来事を歌ったもの
のようで、私は再び感激してしまいました。

通信教育部長に就任し、 通教生たちのすごさに感動

通信教育部長に就任した際には、創立者から「おめでとう」の言葉を頂戴し、通教のさらなる発展に尽くし、学生たちの学びへの強い意欲を支えるのだと、決意を新たにしました。

しかし、通信教育部で仕事を始めてみると、逆に通教の学生や卒業生たちのすごさに教えられることのほうが多いことに気づきました。仕事や家事などをしながら時間を作って懸命に学んでいる通教生たち。挫折しそうになったときは「負けじ魂」を燃え上がらせて自分と闘い、乗り越えていく。100人いれば100通りのドラマがありました。その一部をいくつか紹介しましょう。

合格実績が輝く「教員採用試験」、 「司法試験」にも2名合格

通教生は様々な目的を持って学んでいます



通信教育部の代表を激励する創立者

が、その一つは、資格試験や採用試験に合格することです。特に、創価大学の通教では教員採用試験を目指す人が多く、昨年度は103名の合格者が出ました。15年連続で100名以上の合格者を輩出しており、通教開設以来の合格者の合計は3,104名。これは誇るべき数字だと思います。

合格者の中には何回もチャレンジして合格を勝ち取ったという方がいます。仕事をしながら、勉強を続けていた方です。なかなか合格できず、心が折れそうになりながらも、娘さんが生まれたことで奮起。毎朝4時半から勉強し、日中は会社で仕事をし、帰宅後は深夜まで机



第10回学光祭での創立者

に向かって勉強したそうです。その結果、見事に8回目の挑戦で奈良県の小学校の試験に合格を果たされました。まさに七転び八起きで合格を手にしたのです。

2013年には司法試験でも合格者が2名誕生しました。1人は創価大学通学部の法学部にいた方ですが、ご家族の介護で体調を崩してしまい、通教へ入学。勉強を続ける中で、くじけそうになる度に大きな励みになったのは「通教時代にスクーリングで共に学んだ60代、70代の向学の人たち」だといいます。分厚い六法を開いて懸命に勉強しているその姿を思い出し、自分の弱い心を乗り越えていったそうです。

もう1人は、佐賀県の工業高校卒業後に自動車関連メーカーで働いていた方で、自分のやりたい仕事をするには大学を出る必要があることを痛感して、働きながら通教へ。法学部へ入学して勉強をすることで司法試験にチャレンジし、猛勉強の結果、見事合格されました。

専門分野を作るために 通教に入学する人たちも

大学卒業後、仕事に就いてから、専門分野を作りたいと通教に入学し、自分をパワーアップして活躍される方もたくさんいます。タイのタマサート大学の大学院生が創価大学を訪問した際に、日本の憲法についての講義を私が受け持ったことがあるのですが、そのときの通訳の女性もその1人でした。

彼女は東京外国語大学タイ語学科を卒業後、タイ語の通訳として活躍するためには専門分野を持つ必要があると考えて、通教の法学部に入学。ところが、お子さんの出産・育児のためやむなく勉強を中断。しばらくして創立者の話を聞く機会があり、一念発起して再び勉強にチャレンジしました。小さなお子さんを育てながらの勉強はさぞ大変だったかと思います。レ

ポート用紙に落書きされることもあったそうで、ボールペンなどで書かれてどうしても消せないときは、仕方がなくそのまま提出したといえます。「それでも何も注意されることはなく、返却されたレポートにひと言励ましのメッセージが添えてあったことに感激しました」と。苦勞して卒業したあとは、法律に詳しいタイ語通訳者として活躍し、法廷で通訳する機会も増え、いつしかタイ語の法廷通訳の第一人者になったそうです。

生涯学習の場として 通教の人気は上昇中

高齢化社会を反映し、リタイア後や子育てがひと息ついたところで、もう一度学びたいと通教を始める人が増えています。

ある69歳の女性は、16年かかって卒業しました。単位をとるのに苦勞をしたようですが、「1回で不合格なら2回目に挑戦すればいい、そのほうが何度も勉強できる」と前向きに取り組み、あきらめることなく勉強を続けました。その姿を生まれたときから見てきた小学生のお孫さんは「挑戦するおばあちゃん」と題する作文を女性に送りました。お孫さんにとって女性は「自慢のおばあちゃん」であり、卒業が決まったときは、一緒に大喜びをしたそうです。

このように60代、70代の通教生もたくさんいます。今年は、通教史上最高齢となる87歳の方が入学しました。いくつになっても学びたいという意欲に頭が下がる思いがします。

また、卒業後に別の学部に入學して勉強を続ける人たちも大勢いて驚かされます。法学部、経済学部、教育学部と全学部を制覇する方も少なからずいて、「法経教グループ」と呼ばれているそうです。

学ぶ楽しさを実感できるように、 学習サポートを充実

卒業生の皆さんは口々に「通教で学ぶ楽しさを初めて知った」、「難しいことをやさしく解説してもらい、いろいろなことが分かってきて楽しい」といいます。学ぶ楽しさを実感できる

ことが、通教を続ける秘訣だといえるでしょう。

そこで、より楽しい学びの場にするために、40周年を迎えるにあたり、いくつかの改革を行いました。まず行ったのは新しいカリキュラムへの改訂です。時代のニーズに合わせて大幅な科目の見直しを行いました。また、学習支援推進室を設置して、アカデミックアドバイザーの制度を整えると共に、「レポートの書き方が分からない」という声に応じてレポート作成講座を開催しています。いずれも大好評です。

さらに50周年へ向け、 「学生第一」の改革を進める

50周年に向けての展望として、次の2つのことを考えています。

1つは、ICT化の推進です。現在すでに、履修登録、スクーリングの申し込み、成績表の確認、機関誌「学光」の電子化などは実施済みですが、今後の課題として、卒業に必要なスクーリング単位を、自宅での学習による「eスクーリング(オンデマンド)」で修得できるeスクーリング科目の拡充を目指しています。また、中長期の課題として、レポートの提出と添削がウェブ上でできるようにすることも計画しています。



通信教育部の夏期スクーリングの授業を参観される創立者

もう1つは、教員養成のさらなるパワーアップです。昨年度から、新たに公立学校での校長経験者や幼稚園教諭育成校講師6名を専任講師として迎え、教職を目指す通教生のサポートを強化しています。全国に経験豊かな教職指導講師を配置して、教職生へのきめ細かなサポート体制を一段と大きく充実させる計画を進めたいと考えています。



2015年度より通教ネットにも掲載されている機関誌「学光」と、通信教育部編の「創立の精神を学ぶ」



Profile

花見 常幸

Tsuneyuki Hanami

東京都生まれ。1975年創価大学法学部卒業。1982年同大学院法学研究科博士後期課程単位修得後、同大学平和問題研究所助手、法学部助教授。1992～93年に米国ハーバード大学でvisiting fellowとして在外研究。1997年に創価大学法学部教授に就任。同大学法学部長を経て、2010年から通信教育部長。2012年より副学長補。主な著作として『憲法(改訂版)』『現代憲法論(改訂版)』『地球市民をめざす平和学』など。

Born in Tokyo, Professor Hanami graduated from the Faculty of Law at Soka University in 1975. After receiving his doctorate at the Graduate School of Law at Soka, was made an assistant at Soka University Peace Research Institute, and appointed assistant professor at the Faculty of Law. Conducted research at Harvard University in 1992-1993 as a Visiting Fellow, and was appointed professor at the Faculty of Law at Soka University in 1997. After serving as Dean of the Faculty of law, he has served as Dean of the Division of Correspondence Education since 2010. Appointed Vice-President of the university in 2012. Some of his publications include: "The Constitution (Revised Ed.)", "Modern Constitutional Theory (Revised Ed.)", and "Peace Studies and Nurturing Global Citizens."

Challenger's File No.5

赤堀 由子さん

Yoshiko Akahori

2006年度 通信教育部卒業

66歳で通教に入学! 卒業後は日本語教師として 71歳で中国の国立大学に

「私は66歳で、通信教育部(教育学部教育学科日本語教員養成コース)に入学しました。その3年前に最愛の夫に先立たれ、ずっと失意の日々を送っていたのですが、涙で人生を曇らせてはいけなそうと思い、以前から興味があった日本語教師の勉強をすることを決意しました。そして、真剣に学び、教員、職員の方にも支えていただき、4年間で卒業することができました。

卒業後は、日本語学校への就職活動を開始。日本語教師の経験もなく、加えて年齢面からも不利なため、20校はチャレンジしようと決め、あきらめず履歴書を送り続けた結果、16校目で採用を勝ち取ることができました。

そして、71歳のときに中国で日本語を教えるチャンスが巡ってきました。全寮制の日本語学校の担任と、週2回は出張で国立大学の日本語クラスの授業を担当することに。学生たちにきめ細かな指導を心がけた結果、模試や日本語能力試験で目を見張る好成績をおさめるほどに日本語が上達。大学としても、これまでの最高成績を取めることができました。当時の学生からは今でも近況のメールが来ています。

そして、中国で5年間教え、その後は東京の日本語学校に再び就職し、79歳の今でも週2~3日は、教壇に立っています。

最近思うことは、創立者の“若い人は未来の宝”という言葉をいかに実践するかということ。目の前の学生がどんな状況であれ、学生の伸びる力をどれだけ信じてあげることができるか。これが私にとっての“チャレンジ”です」

Advice for Challengers

赤堀さんが通教で挑戦した4年間の苦勞は？

○通信教育では、卒業に必要な124単位のうち、30単位はスクーリング単位での修得が必要。赤堀さんも、創大キャンパスで大学で学ぶ喜びを味わい、受講仲間とは今でも交流しているそうです。

○一番苦勞したのは、科目ごとに提出するレポート。先生のでいいな添削を受けて毎回必死で仕上げたそうです。「通教の先生方は日本語教師としての私のお手本です」

8/26(金)～8/28(日)に開催決定! 充実の50講座が皆さんの参加を待っています!

43回目を迎える夏季大学講座が、今年も8月26日(金)から8月28日(日)の3日間で50講座を開講します。昨年は、10,059人が受講。本講座は、創立者池田先生のご提案で、「市民に開かれた大学」を目指し、開学3年目の1973年より始まりました。充実した教育設備が整った中央教育棟GLOBAL SQUAREや本部棟などで、創大生活を満喫してください!



●内容

開講日 2016年8月26日(金)・27日(土)・28日(日)
会場 創価大学 東京都八王子市丹木町1-236
聴講資格 自由
聴講料 1講座 2,500円(税込)

※1日に聴講できるのは1講座です。
※申し込み後の変更ならびに返金はできません。
※「創友会・会友会カード」(クレジットカード併用)をお持ちの方は、当日、割引額(500円)を返金いたします。

●時間帯

午前の講義 10:00～11:30
昼食・休憩 11:30～13:30(校内散策など)
午後の講義 13:30～15:00
※お申込の1講座を、午前・午後合わせて3時間聴講することになります。

●ピストンバスの案内

【ピストンバス往路】
JR八王子駅北口14番乗場より大学構内直行便を、
午前7時半～午前9時半まで運行します。
【ピストンバス復路】
大学構内2カ所よりJR八王子駅直行便を、
午後3時～午後4時まで運行します。
※午後4時以降は、通常の路線バスをご利用ください。

※講座内容等詳細はWEBにて「創価大学 夏季大学講座」で検索

●お申込方法

申込期間: 2016年7月1日(金)午前10時～8月25日(木)午後11時まで。
コンビニエンスストア「ローソン」・「ミニストップ」各店のチケット発券機Loppi(ロッピー)にて購入できます。

お近くのローソン・ミニストップの探し方

ローソン: <http://store.lawson.co.jp/>
ミニストップ: <http://shop.ministop.co.jp/ms/>

パターン1: 直接購入(予約なし)の場合

- 1 「Loppi」の画面で「各種番号をお持ちの方」をタッチし、直接「Lコード」を入力
- 2 「検索結果画面」→「チケット購入画面」→「枚数入力画面」に移ると「Loppi」本体から「申込券」が発券され、発券後30分以内にレジで精算し完了

パターン2: 電話で予約後の引き取りの場合

0570-084-003へ電話をし、音声に従って進んでください。その際「予約番号」を必ず控えてください。電話予約後、引取期間内にローソン・ミニストップへ行き、「Loppi」で引取手続きをしてください。

- 1 「Loppi」の画面で「各種番号をお持ちの方」をタッチ
- 2 「番号検索」画面に10桁の予約番号を入力し、「検索結果一覧」画面で「予約済みチケットの発券」を押す
- 3 「予約済みチケットの引き取り」画面の「番号入力欄」にご予約時に登録した「電話番号」を入力
- 4 「カード情報入力」画面で「いいえ」を押し、次の画面でお客様の「名前」、「電話番号」を入力
- 5 「Loppi」本体から「申込券」が発券され、発券後30分以内にレジで精算し完了

科学や教育問題など、魅力ある講座からピックアップ!



ドイツ語を楽しもう

文学部
教授 副学長
田中 亮平

簡単なドイツ語を使って楽しく会話をする講座です。挨拶や自己紹介に加え、身近な家族や友人の紹介にも挑戦します。もちろん、音楽などのドイツ文化も楽しめます。



「共育」のススメ —子供を育む豊かなかわり—

教職大学院
講師
近藤 茂代

親子、夫婦をはじめとする人間関係の悩みは尽きません。それらの悩みを解決するヒントを得るため、親子関係を中心に、より豊かなかわりを探っていきたいと思います。この講座が、共に育つ「共育」の場になることを願います。



理数科教育のシステムが破壊されたカンボジアで教育支援

「数学は体系的かつ論理的に教えるもの。それを16年間伝え続けた」

“For 16 years, I have said that mathematics should be taught in a systematic and logical way”

教師がほとんど虐殺されてしまい、
その影響が数十年続いていたカンボジア

今から40年ほど前、カンボジアではポル・ポト政権によって知識階級が弾圧され、ほとんどの教師が虐殺されてしまいました。学校教育は一時ストップし、その影響は平和を取り戻した今も続いています。

鈴木教授は、16年前からカンボジアに足を運び、JICA(国際協力機構)の『カンボジア理数科教育改善プロジェクト』で数学教育の支援を行って来ました。

「数学や理科は、体系的な積み上げや論理的思考が必要な教科です。カンボジアでは、学校教育を再建するため、読み書きができる人を見つけてとりあえず教師にしたため、数学や理科をきちんと教える人がいない状態でした。教師を養成する国立教育学校(NIE)の機能を強化しようとしても、NIEの教官自体が高校程度の数学の問題を解けなかったのです」

例えば、「A地点からB地点を經由してC地点へ行く。AからBへは2通り、BからCへは3通りの道があるとき、AからCへは何通りの方法で行くことができるか」というような問題に、教官が「5通り」と答えてしまう、そんな状況だったそうです。

教師を指導する教官のレベルアップや、
教科書・指導書の作成を支援

最初に計画していたNIEの教官の教授力の強化や教員養成カリキュラムの整備の前に、まず教官のレベルアップが必要になりました。

「教官たちも数学を体系的に教わったことがありません。教科書に書かれていることを覚えているだけなので、間違いを指摘しても、『それは教科書に書いてない』という反応が返ってきて話がかみ合いませんでした。そこで、集中的に講義を行い、数学的論理展開の理解がいかに大切かを訓練していきました」

教科書自体も誤った説明やミスプリントがたくさんあり、新しい教科書作りの支援も必要でした。

「2013年からは、中学校教員に配布される理数科の教師用指導書作りを始めました。教える順番や生徒への質問の仕方、知っておきたい高度な関連知識などについて、英語で私が原稿を書き、現地のカウンターパート(担当者)がクメール語に訳して作りました。指導書があれば、カンボジア中の中学できちんと数学を教えられるようになる」と期待しています」



現地事務所でデスクワーク中の鈴木教授

改善の光が見えてきたカンボジア。
日本の数学教育は安泰か？

プロジェクトはひとまず今春で終了。どのような成果が出ているのでしょうか？

「理数科教育には論理性が大事だということが少しずつわかってもらえるようになってきたと感じています。幸いなことに、新しい教育大臣は海外在住の経験もあり、人材育成教育に力を注いでいこうとしています。カンボジアの理数科教育はこれから徐々に変わっていくでしょう。その土台を作るお手伝いができたと思っています」

ひるがえって日本はどうでしょうか？

「日本の理数科教育のレベルは高いのですが、全体的に文章題などを解く力が弱くなってきています。暗記中心の受験勉強の弊害も指摘されています。論理的思考を教える算数教育や数学教育の重要性は日本でも同じです。カンボジアの教育改善にかかわって、日本の数学も心配になってきました」



『カンボジア中等理数科教育改善プロジェクト』クロージングセミナー



Profile

鈴木 将史

Masashi Suzuki

東京生まれ。1982年東京大学理学部数学科卒業。1989年同大学院理学系研究科博士課程単位取得。1992年愛知教育大学数学教育講座助教授。2007年創価大学教育学部児童教育学科教授に就任。2012年4月より教育学部長を務める。確率論や数学教育を研究するかわら、カンボジアにおける数学教育支援にも力を注ぐ。

学生の活躍 Student Activity

経営学部

2年連続で「日経STOCKリーグ」に入選

Selected for the Nikkei Stock League two years straight



左から定久大希さん、清水萌子さん、安岡幸恵さん、平岡秀福先生

日本経済新聞社主催「第16回日経STOCKリーグ」が開催され、経営学部の片角光弘さん、定久大希さん、清水萌子さん、安岡幸恵さんのチーム(平岡ゼミ4年生・チーム名:女子力男子)の「SEISA NO OWARI〜女子力男子にエールを送るポートフォリオ〜」と題するレポートが、1,639チームの中から優秀レポートとして入選し、平岡ゼミは2年連続入選となりました。同リーグは、中学・高校・大学生を対象にした「自主テーマによるポートフォリオ学習」および「レポートコンテ

スト」で、日本の若者の証券、株式等の生きた金融・経済の修得向上を目的に行われました。定久さんは「平岡先生をはじめ、先輩方や同期メンバー全員と半年以上にわたり取り組む過程で悩むことも多くありましたが、それ以上に多くのことを学び大変有意義な時間を過ごすことができました。この結果に満足することなく、これからも創大生として学び続ける姿勢を忘れず、社会で活躍できる人材に成長してまいります」と喜びと決意を語りました。

柔道部

男女そろって全国大会出場決定

Male and female Soka students advance to All Japan University Judo Federation National Championship



2016年度東京学生柔道優勝大会が5月29日、千代田区の日本武道館で行われ、女子柔道部

が3人制の部に出場し、2大会ぶりに優勝。男子柔道部も代表決定トーナメントで勝ち星を重ね、男女そろって全日本学生柔道優勝大会への進出を決めました。女子3人制の決勝戦は、創価大学と早稲田大学の一戦でした。1勝1敗で迎えた大将戦に岩佐遥さん(文学部3年)は、「昨年の都大会で敗れた相手だけにリベンジしなかった」と強い決意で臨みました。序盤から相手を圧倒し、得意の抑え込みで一本勝ちし優勝を決めました。一方、男子チー

ムは、2回戦で駒澤大学に惜敗しますが、その後の代表決定トーナメントで勝ち星を重ね、全国大会への切符を手に入れました。石橋清二監督は「創始者をはじめ、応援して下さる方々への感謝を胸に、日々の練習を重ねてきました。また、被災された熊本の皆さんのお力に少しでもなりたいたいの思いで勝負に挑みました。全国大会の舞台でも全員柔道で、最後まであきらめない創大らしい戦いをします」と力を込めて語りました。

国家資格取得

社会福祉士国家試験で私立大学合格率2年連続の1位

Soka is the top private university for percentage of test-takers who have passed the National Social Worker Exam for two years straight



1月に実施された第28回社会福祉士国家試験に、本学文学部の社会福祉専修生10名が合格しました(新卒合格率71.4%)。既卒を含めると11名が合格し(合格率68.8%)、全国私立大学で2年連続の合格率第1位となりました。「社会福祉士」は、「社会福祉士及び介護福祉士法」に規定された国家資格の福祉専門職であり、近年、わが国で大きな課題となっている生活保護や介護、児童虐待などの課題を抱えた人たちへの相談援助を行

います。資格取得のためには、文科省ならびに厚労省の認可を受けた大学で所定の単位を取得し、毎年1月に開催される国家試験への合格が必要となります。本学社会福祉専修では、課外講座や個別の学習相談など学生一人ひとりへの学習支援を行ってきました。合格者の多くは、国や各都道府県などの行政機関、医療機関、社会福祉協議会、福祉施設等に勤務しており、今後、社会福祉の第一線での活躍が期待されています。

法学部

TOMODACHI MetLife Women's Leadership Programに参加

Soka takes part in Tomodachi MetLife Women's Leadership Program



右が塩田貴子さん

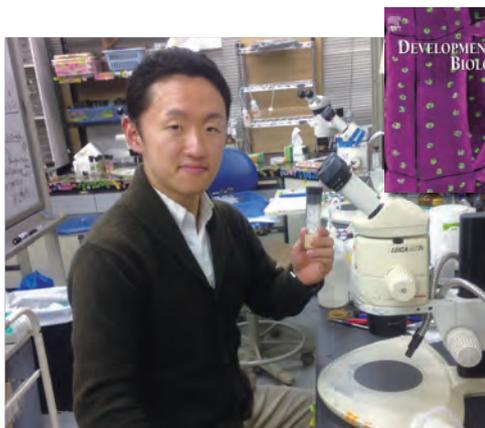
ワシントンD.C.とニューヨークで行われた TOMODACHI MetLife Women's Leadership Programの研修に、塩田貴子さん(法学部2年)が参加しました。同プログラムは、東日本大震災後の日本の復興支援から生まれ、教育、文化交流、リーダーシップといったプログラムを通し、日米の次世代のリーダーの育成を目指すTOMODACHIイニシアチブのプログラムの一つです。公益財団法人 米日カウンシルと東京米国大使館が主催し、日本政府および日米の企業、団体、個人から

支援を受けて行われます。参加した塩田さんは「東京、大阪、福岡、那覇から集った優秀で意識の高い40人の参加者と出会ったことから、すでに参加した意味があったと思う素晴らしいプログラムでした。出会った方々から多くの刺激を受け、大学1年生(当時)でこのような機会に恵まれたことに本当に感謝しています。今回、参加して得たものを、今後の大学生活に活かしていくとともに、さらに様々な国内外で行われるプログラムに挑戦していきたいと思います」と話しました。

工学研究科

大学院生の論文がアメリカの科学雑誌に掲載、表紙を飾る

A thesis written by a Soka grad student appears on the front cover of US science publication



工学研究科生命情報工学専攻の伊藤和義さんの論文が、アメリカ発生物学会の公式雑誌「Developmental Biology」に掲載され、表紙を飾りました。論文のタイトルは「Mucin-type core 1 glycans regulate the localization of neuromuscular junctions and establishment of muscle cell architecture in Drosophila」。モデル生物のショウジョウバエにおいて、一般的に上皮細胞の表面に存在し、細胞を保護する

役割を担っているムチン型糖鎖(T抗原)が、神経筋接合部の形成部位の決定と、筋細胞構造の形成に機能することを明らかにしました。伊藤さんは、「大学4年生から今回の論文につながるテーマで研究に取り組んできましたが、途中で何度か研究が振り出しに戻りました。それでもあきらめずに地道に研究を続けてきたことが成果にあらわれたと思います。ご指導をいただいた西原祥子教授には本当に感謝しています」と語りました。

工学研究科

電子情報通信学会の大会で学生奨励賞を受賞

Honorable mention earned at competition held by the Institute of Electronics, Information and Communication Engineers



3月15日から18日にかけて、九州大学で「2016年電子情報通信学会・総合大会」(主催:電子情報通信学会)が開催されました。この学会において、本学工学研究科博士後期課程の山崎大志さん(指導教員:渡辺一弘教授)の論文「表面形状と硬さを識別可能なヘテロコア光神経触覚センサ」が、通信ソサイエティ分野の「光ファイバ応用技術専門委員会」において、学生奨励賞を受賞しました。

この賞は、年間6回行われる光ファイバ応用技術研究会での学生発表の中から、優秀な発表者に贈られるものです。山崎さんは「これまでの研究活動を支えてくださった多くの方々、また、その機会を与えてくださった創価大学に感謝しております。この賞を機に、今後の研究活動を通して大学に貢献できるよう取り組んでまいります」と語りました。

ダンス

「チアリーディング世界選手権2016」で金メダルを獲得

Soka University students win gold medal at 2016 World Cheerleading Championships



左が松尾正樹さん、右が尾本幸一さん

本学1年生の松尾正樹さんと尾本幸一さんが、アメリカのフロリダ州で4月21日、22日(現地時間)に行われた「ICU(国際チア連合)チアリーディング世界選手権2016」に日本代表として出場しました。本大会は、参加国100カ国以上、総動員数約30,000人という、チアリーディング、ダンスの世界レベルの大会の中では、最も規模の大きい世界選手権です。松尾さん、尾本さんの2人がペアを組んで出場した「チームチア・ヒップホップダブルス」(18カ国対抗)では日本初の快挙となる

第1位(金メダル)に輝き、2人が日本代表チームの一員として出場した「チームチア・ヒップホップ」(16カ国対抗)では、第2位(銀メダル)を獲得。その他、日本チームは、「チームチア・フリースタイルポム」「フリースタイルポムダブルス」でも2位となりました。世界中から集い競い合った大会での日本チームの快挙に、他国の選手からも万雷の拍手が贈られました。2人は「多くの人に支えられてきた恩返しを込めました。さらに実力を磨いていきます」と決意を語りました。

法学部

『文明の同盟(UNAOC)』グローバルフォーラムに参加

Soka takes part in United Nations Alliance of Civilizations (UNAOC) global forum



左から3番目が窪口修兵さん

国連『文明の同盟』は、2005年の第59回国際連合総会において、スペインの首相ホセ・ロイス・ロドリゲス・サパテロ氏により提案され、トルコの首相レジェップ・タイイップ・エルドアン氏が共同提案者の一人として発足した同盟で、異文化間対話、および宗教間対話と協力を活発化することにより、過激主義を克服する国際的行動を推進することを目指しています。4月25日から27日にかけて行われた年次のフォーラムには、世界中から優秀で意欲あふれる青年たちが公募審査を経て集い合

いました。1日目にYouthイベントを開催。イベントでは、120カ国150名の青年が、「包括的社会で共に生きること」とのテーマのもと3月よりスカイプを通してグループ討議を行ってきた成果を潘基文国連事務総長の特別大使やUNAOC大使らの前でプレゼンテーションの形で発表しました。本学から参加した窪口修兵さん(法学部3年)は、「今回のプログラムを通し、一人の地球市民として、世界に平和をもたらす一要素になりたいと、強く思いました」と感想を語りました。

創価女子短期大学

MOS/ACA世界学生大会2016で短大生3名が入賞

Three Students from Soka Women's College win at MOS/ACA World Championship on June 17, 2016



左から中村さん、大谷さん、亀田准教授

「MOS/ACA世界学生大会2016」日本大会のワード、大学・短期大学部門において、短大現代ビジネス学科2年生の大谷広美さんと中村由香さん、今春卒業した下地陽子さんが入賞し、6月3日に東京国際フォーラムにて表彰されました。表彰式には情報科目担当者の亀田准教授も参加しました。受賞式では主催企業である株式会社オデッセイコミュニケーションズの出張勝也代表取締役社長の挨拶の後、

元サッカー日本代表の城彰二氏の特別講演、サーティポート社のジェフリー・ルイス氏の挨拶がありました。大谷さんと中村さんは今回が初めての入賞。昨年同部門で入賞し、アメリカ・ダラスで開催された世界大会本戦にて世界第3位を受賞した卒業生の下地さんは2年連続の入賞となりました。同部門での本学の学生の入賞は、2011年度より6年連続となります。

2016年度前期特待生

2016 Performance-Based Scholarships

この度、学生部委員会・学部教授会にて審議決定された2016年度前期特待生が発表されました。特待生とは、セメスター（前期／後期）ごとに学業成績が優秀である学生を表彰する制度で、対象者には奨励金15万円が給付されます。

法学部2年生 生駒 比奈子さん Hinako Ikoma



「素晴らしい環境の中で勉学に励めることに感謝し、人権が侵害されている世界の子供たちのために、自分にできることを探求してまいります」

経済学部経済学科 中村 拓也 Takuya Nakamura	経済学部経済学科 佐藤 響依 Kanae Sato	経済学部経済学科 脇坂 明美 Akemi Wakisaka	経済学部経済学科 東 寿々奈 Suzuna Higashi
経済学部経済学科 小野 賢一 Ken'ichi Ono	経済学部経済学科 菅野 裕哉 Yuya Kanno	経済学部経済学科 中村 伸子 Nobuko Nakamura	経済学部経済学科 木平 優 Masaru Kihira
経済学部経済学科 杉本 誠 Makoto Sugimoto	経済学部経済学科 山本 広明 Hiroaki Yamamoto	経済学部経済学科 今村 仁美 Hitomi Imamura	経済学部経済学科 工藤 沙央里 Saori Kudo
経済学部経済学科 亀井 咲希 Saki Kamei	経営学部経営学科 山口 和美 Kazumi Yamaguchi	経営学部経営学科 秋山 実華 Mika Akiyama	経営学部経営学科 谷口 伸一 Shin'ichi Taniguchi
経営学部経営学科 柳田 真凜 Marin Yanagida	経営学部経営学科 広川 祐美 Yumi Hirokawa	経営学部経営学科 谷口 真敏 Masatoshi Taniguchi	経営学部経営学科 中原 咲希 Saki Nakahara
経営学部経営学科 中嶋 栄紀 Hiroki Nakajima	経営学部経営学科 黒田 秀之 Hideyuki Kuroda	経営学部経営学科 山本 明実 Akemi Yamamoto	経営学部経営学科 田村 美幸 Miyuki Tamura
経営学部経営学科 川畑 咲絵 Sakie Kawabata	経営学部経営学科 齋藤 彩音 Ayane Saito	法学部法律学科 水野 智寛 Tomohiro Mizuno	法学部法律学科 岩間 美空 Miku Iwama
法学部法律学科 三井寺 夏希 Natsuki Miidera	法学部法律学科 堺谷 ひかり Hikari Sakaitani	法学部法律学科 谷口 和寛 Kazuhiro Taniguchi	法学部法律学科 立野 未奈子 Minako Tateno
法学部法律学科 川村 将輝 Masaki Kawamura	法学部法律学科 福本 明美 Akemi Fukumoto	法学部法律学科 安達 和秀 Kazuhide Adachi	法学部法律学科 生駒 比奈子 Hinako Ikoma
法学部法律学科 八尋 朱音 Akane Yahiro	法学部法律学科 池田 美咲 Misaki Ikeda	法学部法律学科 宮地 未樹 Miki Miyachi	法学部法律学科 廣瀬 文人 Fumihito Hirose
文学部人間学科 田上 結花 Yuka Tanoue	文学部人間学科 岩田 いづみ Izumi Iwata	文学部人間学科 大林 貴子 Takako Obayashi	文学部人間学科 安藤 和世 Kazuyo Ando
文学部人間学科 熊野 あずみ Azumi Kumano	文学部人間学科 山中 秀幸 Hideyuki Yamanaka	文学部人間学科社会福祉専修 沢本 まゆ子 Mayuko Sawamoto	文学部人間学科 松浦 崇也 Takaya Matsuura
文学部人間学科 谷口 凜紗 Nagisa Taniguchi	文学部人間学科 取井 唯人 Yuito Torii	文学部人間学科社会福祉専修 石橋 加慧 Kae Ishibashi	文学部人間学科社会福祉専修 京極 舞 Mai Kyogoku
文学部人間学科 中田 美咲 Misaki Nakata	文学部人間学科 玉井 美和 Miwa Tamai	文学部人間学科 井上 未結 Miyu Inoue	文学部人間学科 杉本 規美子 Kimiko Sugimoto
文学部人間学科 鈴木 桃子 Momoko Suzuki	文学部人間学科 清田 俊介 Shunsuke Kiyota	文学部人間学科 福地 海斗 Kaito Fukuchi	文学部人間学科 岸 美香 Mika Kishi
文学部人間学科 中後 幸恵 Sachie Chugo	文学部人間学科 田中 未来 Miki Tanaka	文学部人間学科 河合 美空 Miku Kawai	文学部人間学科 佐藤 彩夏 Ayaka Sato
教育学部教育学科 鈴木 香菜水 Kanami Suzuki	教育学部教育学科 松本 美幸 Miyuki Matsumoto	教育学部教育学科 亀田 悠希 Yuki Kameda	教育学部教育学科 谷 英一 Eiichi Tani
教育学部教育学科 白井 未央 Mio Usui	教育学部教育学科 小浜 智美 Tomomi Obama	教育学部児童教育学科 若本 輝美 Terumi Iwamoto	教育学部児童教育学科 仲野 優子 Yuko Nakano
教育学部児童教育学科 清水 裕美 Hiromi Shimizu	教育学部児童教育学科 網野 里沙 Risa Amino	教育学部児童教育学科 遠藤 葵 Aoi Endo	教育学部児童教育学科 小森 清美 Kiyomi Komori
工学部(現理工学部)情報システム工学科 橘 直博 Naohiro Tachibana	工学部(現理工学部)情報システム工学科 高澤 栄一 Eiichi Takazawa	工学部(現理工学部)情報システム工学科 川崎 幸一 Koichi Kawasaki	工学部(現理工学部)情報システム工学科 戸田 光一 Koichi Toda
工学部(現理工学部)生命情報工学科 落合 佳樹 Yoshiki Ochiai	工学部(現理工学部)生命情報工学科 赤瀬 幸子 Sachiko Akase	工学部(現理工学部)環境共生工学科 梶原 鈴加 Suzuka Kajiwara	工学部(現理工学部)環境共生工学科 太田 勇二 Yuji Ota
理工学部情報システム工学科 畠山 翔 Sho Hatakeyama	理工学部情報システム工学科 石渡 美咲 Misaki Ishiwatari	理工学部共生創造理工工学科 池田 光一 Koichi Ikeda	理工学部共生創造理工工学科 鈴木 光弘 Mitsuhiro Suzuki
理工学部共生創造理工工学科 石嶋 貴志 Takashi Ishijima	看護学部看護学科 福盛 良恵 Yoshie Fukumori	看護学部看護学科 徳永 光章 Mitsuaki Tokunaga	看護学部看護学科 西海 由利花 Yurika Nishiumi
看護学部看護学科 大島 里沙 Risa Oshima	看護学部看護学科 島 慈 Itsumi Shima	看護学部看護学科 上田 美保 Miho Ueda	国際教養学部国際教養学科 森岡 秀美 Hidemi Morioka
国際教養学部国際教養学科 青山 洋明 Hiroaki Aoyama			

第46回創価大学・第32回創価女子短期大学入学式を挙行

Jointly Celebrating the 46th Soka University & 32nd Soka Women's College Entrance Ceremonies

第46回創価大学・第32回創価女子短期大学入学式が、4月2日、桜満開のキャンパス内の池田記念講堂で挙行されました。式典には、台湾・国立高雄大学の黄肇瑞学長一行、平和学者のケヴィン・クレメンツ博士夫妻が参加し、新入生を祝福しました。

在学生の歓迎挨拶、映像上映、祝電披露、歓迎演奏の後、式典では、石川短大学長の開式の辞に続き、谷川常任顧問が創立者のメッセージを代読。奥富雅之学生部長が入学した学部生1,615名、通信教育部生739名、日本語研修課程および特別履修課程43名、海外交流校からの交換留学生45名、大学院博士前期課程および修士課程130名、博士後期課程8名、法科大学院生27名、教職大学院生19名、短大生274名を紹介しました。

新入生の代表抱負、本学パイオニア吹奏楽団による祝賀演奏に続いて、馬場学長は、新入生への祝辞を述べ、創価大学の近年の発展について言及した後、「学部に入學する皆さんが4年間の学生生活を終えて卒業するのは、2020年3月になります。2020年は本学創立50年目に当たる年ですので、皆さんが創立50年への新たな歴史を築く主体者です。創価大学

は、創立者と若き創立者である学生の情熱が一つになることで発展を遂げてきました。創価大学の未来の発展も同じ原理です。本学創立50年へ向けての体制が整いました。どうか新入生の皆さんは、最高の教育環境、最高の教育プログラムの中で、新たな友情を深めるとともに、真の人間力を磨いてください」と述べました。原田創価大学最高顧問の挨拶の後、最後に銀嶺合唱団と共に全員で「学生歌」を合唱しました。



祝辞と共に新入生を激励する馬場学長



石川短大学長による開式の辞



2016年度も厳肅に挙行された入学式



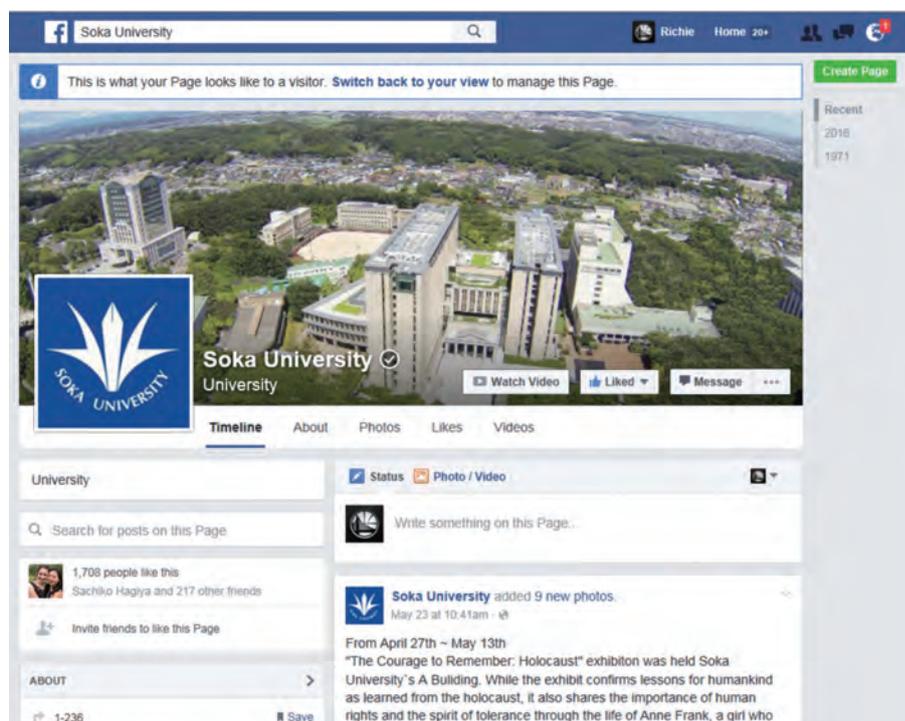
抱負を語る新入生代表



パイオニア吹奏楽団が祝賀演奏を披露

英語版の創価大学公式Facebookページを開設しました

Soka University sets up English edition Facebook page



海外に向けての情報発信の強化を目的に、2016年5月より英語版の創価大学公式Facebookページを開設しました。すぐに世界中からアクセスがあり、開設後3日間で1,300人を超える方から「いいね!」をしていただきました。コメント欄には「お待ちしております!」等の歓迎の声が多数投稿されました。今後、本学のニュースやイベント、キャンパス風景、学生・留学生の活躍など様々なニュースの発信に取り組む予定です。今後とも、英語版公式Facebookページへの「いいね!」をよろしくお願いいたします。

第37回周桜観桜会が開催されました

37th Annual Zhou Enlai Cherry Blossom Viewing Festival

中国の周恩来総理を偲び、日中友好を象徴する周桜観桜会が4月10日、本学のディスカバリーホールで開催されました。37回を数える観桜会には、教職員・学生をはじめ、中国大使館から郭燕公使一行20名、上海魯迅記念館（現：上海交通大学）一行、長野県日中友好協会一行、中国の南開大学、遼寧師範大学、大連芸術学院、大連工業大学、仲愷農業工程学院の学生、また一般の方々、約600名が参加しました。終了後、参加者は文学の池のほとりに咲き誇る周桜を鑑賞しました。



「勇気の証言—ホロコースト展 アンネ・フランクと杉原千畝の選択」開催

Exhibition holding of - The Courage to Remember: The Holocaust 1939-1945, The Bravery of Anne Frank and Chiune Sugihara

平和と人権について考える「勇気の証言—ホロコースト展 アンネ・フランクと杉原千畝の選択」の展示会が4月27日から5月13日、文系A棟1階ロビーで開催されました。「ホロコーストの歴史」、「アンネ・フランクと杉原千畝の選択」、「私からはじまる『人権』」の3章立てとなり、ホロコーストの歴史と、外務省の指示に反して約6,000人のユダヤ人らに日本通過を許可する「命のビザ」を発行した日本人外交官・杉原千畝、そして、「アンネの日記」の著者であるユダヤ人の少女アンネ・フランクの生涯が紹介されました。



第25回さつき祭を開催しました

Holding of the 25th Annual Satsuki Festival

5月15日、短大白鳥体育館にて、近隣16町会から1,000名を超える方を招待し、「第25回さつき祭」を開催しました。クラブ団体や近隣町会の踊りの会などによるアトラクション、くじ引き大会、子供が遊べるちびっこ広場などが行われ、大いににぎわいをみせました。参加した近隣の方からは次のような感想が寄せられました。「毎年、多くの町会の方が参加させていただいていることに、感謝しています。地元が発展が、創大の繁栄になれば、嬉しい限りです。これからも創大の発展を応援しています」(加住町会)



セネガル駐日大使一行が来学されました

Senegal Ambassador visits Soka University

5月16日、セネガル共和国大使館より、シェール・ニヤング大使、ンゴール・ンジャイ公使、バブ・ジャロー等書記官の3名が本学を訪問し、講演をされました。「小学校教育さえも受けられず、フランス軍に従軍した私の父は、子供には多くの教育を受けてほしいと思っていました。また、平和に貢献するためにも外国語を学ぶべきだと父の信念により教育を受けることができました。戦争を経験した父の思想のお陰で今の自分があります。教育は平和を志すための手段なのです」等と学生に語られました。



牧口記念教育基金会の留学生奨学金 奨学生証授与式

Ceremony held to award Makiguchi Foundation scholarships to international student recipients

5月11日、2016年度の創価大学牧口記念教育基金会留学生奨学金奨学生証授与式がディスカバリーホールで開催されました。同奨学金は、牧口記念教育基金会の助成により創設され、経済的に修学が困難な学生をサポートするもので、別科・学部・大学院で学ぶ外国人留学生を対象としています。田代理事長が挨拶し、この制度は、創立者の教育事業に賛同される方々の真心の寄付で成り立っており、創立者が留学生はその国の大使であるといわれるように、活躍する人材に成長してほしいと願いました。



ニューロワール食堂でも 「100円朝食」始めました

New Loire also begins 100-yen breakfasts

2014年度後期より開始となった「100円朝食」が今年度もスタートしました。これまでニュープリンスホールで平日毎日限定200食を販売していましたが、学生より「朝食の販売数を増やしてもらいたい」との声が寄せられ、4月5日より、新たにニューロワール食堂にて平日毎日限定100食の「100円朝食」が始まりました。ニューロワールでの朝食提供時間は8:00～9:00です。規則正しい生活習慣を目指して「朝食」から始めてみてはいかがでしょうか。※ニュープリンスホールでの「100円朝食」の販売は、昨年度同様8:00～10:00まで。



UNHCRとの交流協定調印式

UNHCR academic exchange signing ceremony



5月26日、国連難民高等弁務官事務所 (UNHCR) と本学「難民高等教育プログラム」の協定書の調印式を中央教育棟で行いました。UNHCRよりダーク・ヘベカー駐日代表、小尾尚子駐日副代表、宮澤哲法務部法務アソシエイト、国連UNHCR協会より滝沢三郎理事長、泉田恭子氏が出席。日本社会で暮らす難民に高等教育を提供することを目的とし2017年4月から受け入れを開始します。



創価大学動画コンテスト開催



創大・短大の魅力を皆に知らせたい!

創大・短大の魅力を動画で発信するコンテストを実施します。グランプリ受賞者には、図書カード3万円分をプレゼント!あなたの渾身の動画作品をお待ちしています!

◆**締切:**2016年8月7日(日)必着

※応募期間 2016年7月1日(金)~8月7日(日)

◆**各賞**

グランプリ(1作品) 図書カード3万円

準グランプリ(1作品) 図書カード1万円

優秀賞(3作品) 図書カード5千円

◆**結果発表:**2016年10月頃

グランプリ受賞者の作品、入賞作品は創大オフィシャル放送局「ユニスタ!」や次号SUN91号で紹介されます。

なお、各賞については「該当なし」となる場合があります。

◆**募集テーマ**

10秒以上3分以内の作品で、創大・短大の魅力が伝わる風景や人物の動画。

※応募は一人何作品でも可

◆**参加資格:**創大・短大にゆかりのある方なら誰でもOK!

◆**提出先・問合せ先:**soudaimoviecontest@gmail.com

メールでご応募いただく際は、下記どちらかの方法でお送りください。

(1)ファイル転送サービスを使用して応募

ファイル転送サービスにアップロードして得たURLをメールに記載して送信。

※ファイル転送サービス先例

(各サービスの詳細は提供先サイトを確認ください)

●容量無制限の無料オンラインストレージ「firestorage」

URL: <http://firestorage.jp/>

●簡単無料大容量ファイル転送サービス「GigaFile便」

URL: <http://www.gigafile.nu/>

●無料大容量ファイル転送サービス「宅ふぁいる便」

URL: <http://www.filesend.to/>

(2)YouTubeにアップロードして応募

URL: <http://www.youtube.com/>

アップロードした動画のYouTubeのURLをメールに記載して送信。

※YouTubeアカウント(Googleアカウント)の登録が必要になります。

◆**注意事項:**メールにはURLと共に下記の内容を記載してください。

・件名:撮影地点・メッセージ・本名または投稿ネーム

・本文:在学生の場合/学籍番号・学部・学年・氏名・電話番号・作品のURL

在学生以外の場合/住所・氏名・電話番号・作品のURL

※なお、撮影した動画の著作権は創価大学に帰属します。

健康を
科学する

第9回 熱中症

看護学部
林 真理子 講師
専門は基礎看護学



近年、増加傾向にあります。

正しい知識を身に付け、暑い季節も安全に過ごしましょう。

1. 熱中症の起こるメカニズム

人の体には36~37℃の範囲で体温を調節する働きがあります。暑いときや運動や活動によって体温が上昇した場合は、皮膚近くにある毛細血管に広がり、その熱を放散して一定の温度を保とうとします。また、汗をかくと蒸発するときには気化熱が生じ、熱を奪い体温を下げています。ところが、外気温が高くなると熱が逃げにくくなり、体内に熱がこもり放散しないために発生します。つまり、熱の産生と放散のバランスが崩れることによって熱中症は起こります。

2. 熱中症の主な症状と対応

(1) 軽症:めまい、立ちくらみ、筋肉痛、大量の発汗、筋肉の硬直(こむらえり)/現場で対処可能

(2) 中等症:頭痛、体がだるい、気分の不快、吐き気、嘔吐、虚脱感/速やかに医療機関を受診

(3) 重症:呼びかけに対し返事がおかしい、歩けない、高い体温、意識がない、けいれんなどの症状/速やかに救急車を要請

3. 予防が大切!

(1) 暑さを避けましょう

人間の体は暑い環境に慣れるには、3~4日かかります。ですから急激に暑くなった日や湿度が高い日なども注意が必要です。衣服は、通気性がよく吸湿性・速乾性のあるものを着用し、扇風機やエアコンで温度を調節(設定温度28℃以下、湿度60%)しましょう。また、遮光カーテンやすだれなどを利用することもお勧めします。外出時は、日傘や帽子を活用し、暑さから体を守りましょう!

(2) こまめに水分補給しましょう

暑い日には自然に汗をかいているため、こまめな水分補給が大切です。多量に汗をかいた場合、水だけを飲むと血液のナトリウム濃度が薄まり、同時に余分な水分を尿として排泄します。そのため、塩分やスポーツドリンクなどで補給しましょう。

(3) 日々、健康な体をつくる努力を

体調不良や暑さに対する不適応などによっても起こります。そこで重要なカギは、①バランスのよい食生活②生活リズムを整え、休息や睡眠を十分とる③適度な運動で健康を維持増進する、無理と無駄のない聡明な日々の生活習慣こそ一切の基盤となります。

2015年度 学校法人創価大学の 事業および決算報告書

Fiscal 2015 Soka University Operation and Balance Sheet



2015年度は、文部科学省「スーパーグローバル大学創成支援」ならびに「大学教育再生加速プログラム」採択や我が国の高大接続(入試選抜制度)に関する抜本的な改革などの変化をふまえ、「創価大学グランドデザイン」の後半5年間の取り組みを再検討しました。学生、教職員ならびに世代の別を超えた意見を集約し、「創価大学グランドデザイン2015-20」を発表しました。

決算においては、学校法人会計基準の改正に伴い、従来の消費収支計算書は新たに「事業活動収支計算書」に変更され、経常的な収支と臨時的な収支に区分表示することになりました。経常収支差額は0.8億円の収入超過となり、当年度収支差額についても、4.4億円の収入超過となりました。今後も経費削減と収入の確保に取り組み、さらに財務改善を目指してまいります。詳しくはホームページに今回の事業報告および決算各種資料を掲載しておりますので、ご参照ください。<http://www.soka.ac.jp/about/finance/>

2015年度 資金収支計算書

収入の部				単位 (千円)		
科目	予算	決算	差異			
学生生徒等納付金収入	8,666,815	8,671,163	△ 4,348			
手数料収入	254,265	257,078	△ 2,813			
寄付金収入	5,060,309	5,206,011	△ 145,702			
補助金収入	2,106,596	2,083,589	23,007			
国庫補助金収入	2,105,896	2,082,946	22,950			
地方公共団体補助金収入	700	643	57			
資産売却収入	12,383,175	15,334,088	△ 2,950,913			
付随事業・収益事業収入	809,434	820,985	△ 11,551			
受取利息・配当金収入	3,557,029	3,503,536	53,493			
雑収入	156,112	221,392	△ 65,280			
借入金等収入	0	0	0			
前受金収入	2,504,300	2,106,692	397,608			
その他の収入	2,128,844	2,371,881	△ 243,037			
資金収支調整勘定	△ 2,688,012	△ 2,712,226	24,214			
前年度繰越支払資金	8,906,380	8,906,380	0			
収入の部合計	43,845,247	46,770,571	△ 2,925,324			

支出の部				単位 (千円)		
科目	予算	決算	差異			
人件費支出	7,094,834	7,101,282	△ 6,448			
教育研究経費支出	5,380,239	5,157,103	223,136			
管理経費支出	1,578,752	1,614,588	△ 35,836			
借入金等利息支出	3,250	3,206	44			
借入金等返済支出	52,200	52,200	0			
施設関係支出	4,616,768	4,453,068	163,700			
設備関係支出	281,242	305,945	△ 24,703			
資産運用支出	20,338,776	22,037,142	△ 1,698,366			
その他の支出	1,103,142	1,072,725	30,417			
予備費	(27,980)	72,020	72,020			
資金支出調整勘定	△ 1,898,954	△ 1,209,904	△ 689,050			
翌年度繰越支払資金	5,222,978	6,183,217	△ 960,239			
支出の部合計	43,845,247	46,770,571	△ 2,925,324			

2015年度 貸借対照表

資産の部				単位 (千円)		
科目	本年度末	前年度末	増減			
固定資産	233,132,770	227,289,814	5,842,957			
有形固定資産	101,183,422	100,440,703	742,719			
土地	18,415,808	18,173,629	242,179			
建物	67,214,732	67,878,183	△ 663,450			
その他	15,552,882	14,388,891	1,163,990			
特定資産	96,980,676	98,012,688	△ 1,032,012			
その他の固定資産	34,968,672	28,836,423	6,132,249			
流動資産	7,226,490	10,029,024	△ 2,802,534			
現金・預金	6,183,217	8,906,380	△ 2,723,162			
その他	1,043,273	1,122,644	△ 79,372			
資産の部合計	240,359,261	237,318,838	3,040,423			

負債の部				単位 (千円)		
科目	本年度末	前年度末	増減			
固定負債	3,449,081	3,678,885	△ 229,804			
退職給付引当金	3,332,681	3,525,790	△ 193,109			
その他	116,400	153,095	△ 36,695			
流動負債	3,138,596	3,223,701	△ 85,105			
前受金	2,106,991	2,498,010	△ 391,019			
その他	1,031,605	725,691	305,914			
負債の部合計	6,587,678	6,902,587	△ 314,909			

純資産の部				単位 (千円)		
科目	本年度末	前年度末	増減			
基本金	238,727,730	235,992,306	2,735,424			
第1号基本金	161,777,868	158,203,541	3,574,327			
第2号基本金	9,280,976	10,124,879	△ 843,903			
第3号基本金	66,638,886	66,633,886	5,000			
第4号基本金	1,030,000	1,030,000	0			
繰越収支差額	△ 4,956,147	△ 5,576,055	619,908			
翌年度繰越収支差額	△ 4,956,147	△ 5,576,055	619,908			
純資産の部合計	233,771,583	230,416,252	3,355,332			
負債及び純資産の部合計	240,359,261	237,318,838	3,040,423			

2015年度 事業活動収支計算書

2015年度 事業活動収支計算書						単位 (千円)			
		科目	予算	決算	差異				
教育活動収入	事業活動収入の部	学生生徒等納付金	8,666,815	8,671,163	△ 4,348				
		手数料	254,265	257,078	△ 2,813				
		寄付金	1,863,009	2,010,685	△ 147,676				
		経常費等補助金	2,106,596	2,075,563	31,033				
		国庫補助金	2,105,896	2,074,920	30,976				
		地方公共団体補助金	700	643	57				
		付随事業収入	809,434	820,985	△ 11,551				
		雑収入	155,869	218,820	△ 62,951				
		教育活動収入計	13,855,988	14,054,293	△ 198,305				
			科目	予算	決算	差異			
		人件費	7,058,716	6,908,173	150,543				
		教育研究経費	8,688,224	8,403,174	285,050				
		管理経費	1,969,385	2,091,793	△ 122,408				
徴収不能額等	95,000	68,378	26,622						
教育活動支出計	17,811,325	17,471,519	339,806						
教育活動収支差額	△ 3,955,337	△ 3,417,225	△ 538,112						
教育活動外収入	事業活動収入の部	受取利息・配当金	3,557,029	3,503,536	53,493				
		その他の教育活動外収入	0	0	0				
		教育活動外収入計	3,557,029	3,503,536	53,493				
			科目	予算	決算	差異			
	借入金等利息	3,250	3,206	44					
	その他の教育活動外支出	0	0	0					
	教育活動外支出計	3,250	3,206	44					
	教育活動外収支差額	3,553,779	3,500,331	53,448					
	経常収支差額	△ 401,558	83,105	△ 484,663					
	特別収入	事業活動収入の部	資産売却差額	166,153	418,842	△ 252,689			
その他の特別収入			3,237,543	3,246,823	△ 9,280				
特別収入計			3,403,696	3,665,665	△ 261,969				
			科目	予算	決算	差異			
資産処分差額		299,014	389,182	△ 90,168					
その他の特別支出		9,119	4,256	4,863					
特別支出計		308,133	393,439	△ 85,306					
特別収支差額		3,095,563	3,272,226	△ 176,663					
予備費		(27,980)	72,020	72,020					
基本金組入前当年度収支差額		2,621,985	3,355,332	△ 733,347					
基本金組入額合計	△ 2,993,912	△ 2,914,281	△ 79,631						
当年度収支差額	△ 371,927	441,050	△ 812,977						
前年度繰越収支差額	△ 5,576,055	△ 5,576,055	0						
基本金取崩差額	0	178,857	△ 178,857						
翌年度繰越収支差額	△ 5,947,982	△ 4,956,147	△ 991,835						
(参考)									
事業活動収入計	20,816,713	21,223,495	△ 406,782						
事業活動支出計	18,194,728	17,868,163	326,565						

OPEN CAMPUS 2016

学部・学科の体験授業、教員や学生に直接質問ができる相談コーナー、広大なキャンパスをまわるバスツアー、ほかにも入試問題「傾向と対策」講座（英語・国語・数学）、入試ガイダンスなど多彩なプログラムを用意しています。皆様のご参加をお待ちしています！

創大で、あなたの未来の姿を発見してください!!



相談コーナー



キャンパスバスツアー



体験授業



ワールドイベント



学部企画



創大ライブナビ

参加者登録で記念品プレゼント

オープンキャンパスに参加し、参加者登録をすると創価大学オリジナルの素敵な記念品をプレゼント!

2016 7月30日(土) 31日(日) 8月21日(日)
2017 3月20日(月・祝)
開催時間 10:00~16:00

2017年度 入学試験日程決まる!

創価大学			
	出願期間	試験日	合格発表日
公募推薦入試	2016年11月1日(火)~11月8日(火) (郵送 締切日消印有効)	2016年11月19日(土)	2016年11月30日(水)
大学入試 センター試験利用入試 (前期3科目方式)	2016年12月20日(火)~2017年1月13日(金) (郵送 締切日消印有効)	2017年1月14日(土)・15日(日)に実施される大学入試センター試験を受験すること (本学独自の試験は課さない)	2017年2月13日(月)
大学入試 センター試験利用入試 (前期4科目方式)			
全学統一入試 (3科目方式)	2016年12月20日(火)~2017年1月19日(木) (郵送 締切日消印有効)	2017年2月3日(金)	2017年2月13日(月)
全学統一入試 (2科目方式)			
一般入試	2016年12月20日(火)~2017年1月19日(木) (郵送 締切日消印有効)	経済・法・教育学部 2017年2月7日(火)	2017年2月18日(土)
		経営・文・国際教養学部 2017年2月8日(水)	
		理工・看護学部 2017年2月9日(木)	
大学入試 センター試験利用入試 (後期3科目方式)	2017年2月22日(水)~3月3日(金) (郵送 締切日消印有効)	2017年1月14日(土)・15日(日)に実施される大学入試センター試験を受験すること (本学独自の試験は課さない)	2017年3月13日(月)
創価女子短期大学			
	出願期間	試験日	合格発表日
公募推薦入試	2016年10月26日(水)~11月4日(金) (郵送 締切日消印有効)	2016年11月12日(土)	2016年11月18日(金)
一般入試	2017年1月4日(水)~1月20日(金) (郵送 締切日消印有効)	2017年2月4日(土)	2017年2月13日(月)

キャンパス アカデミック ビジット

Campus Academic Visit

創価大学の実際の授業を高校生・受験生の皆さんに体験していただくことができる「Campus Academic Visit」を開催します。この機会に是非、創価大学の日常を体験してみてください!

第1回 9月19日(月・祝)

第2回 9月22日(木・祝)

※詳細はWEBから「創価大学 Campus Academic Visit」で検索

配布中

キャンパスガイド2017

創価大学、創価女子短期大学のキャンパスガイド2017をご請求いただけます。



資料請求は、創価大学ホームページから
<https://www.umcnavi.jp/soka/soka.asp>

編集部からのお知らせ

編集部では、読者の皆様の声を募集しています。これからも、充実した魅力ある誌面づくりに努めてまいりますので、何卒よろしくお願いたします。

FAX: 042-691-9300 E-mail: sun@soka.ac.jp

